

児童発達支援ガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月
結果公表日:2025年3月27日

回答率

事業所職員: 4名回答、回答率 100%
保護者様: 18名回答、回答率 85%

職員の意見

○環境・体制整備

・法令上の基準は満たしているものの、児童発達支援と放課後等デイサービスが重複する時間帯はそれぞれの職員数が限られてしまうため、配置の調整や工夫は必要である。
(2025年1月から多機能型になり、体制について改善できた)

○業務改善

・第三者を招いた業務前ミーティングの機会が少ないこともあり、外部評価を満足に受けられていないと感じている。
・昨年度実施に至らなかった保護者会を今年度は行うことができた。

○適切な支援の提供

・活動プログラムの立案者を定期的に入れ替えることで、活動内容が固定化しないよう工夫をしている。
・個別支援計画の課題の項目では、保護者様との面談内容を軸に全職員で意見を交換することで、児童の課題の確認を行っている。
・日々の業務前ミーティングにて、最近の児童の様子、当日の活動内容に対する意見交換を行うことでよりよい支援の提供へ繋げている。

○関係機関や保護者との連携

・関係機関会議には、責任者のみならず、他指導員も同席することができた。
・保護者様からのご要望に応じ、保育園訪問を行った。

○保護者への説明責任等

・保護者会を行うことができた。
・保護者様参加型の療育を行うことで、普段の支援内容をより知っていただく機会を設けることができた。

○非常時等の対応

・月に1度安全計画に基づいた避難訓練を実施している。
・虐待防止研修や第三者を招いた事例検討などを行うことで児童と保護者が安心して過ごせる教室作りに努めた。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・こどもの活動等のスペースが十分に確保されているというご意見をいただいた。
- ・活動を行う室内は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているとのご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・親以上に息子の特性を分かっていただけなので、すごく助かっているとのご意見をいただいた。
- ・保育所や幼稚園、地域で他の子どもと活動する・交流する機会はないものの、困りごとが起きたときに保育園訪問していただき、すごく助かったとのご意見をいただいた。

○保護者への説明等

- ・HPに設置されているブログやSNSでの情報開示が不足していると感じられている保護者の方が多く見られた。
- ・保護者同士の交流の機会が設けられる等の家族支援・きょうだいへの支援がされているかとの項目では、「はい」との回答が7割程度に留まった。
- ・日頃より事業所の職員から共感的に支援をされているかとの項目では、高い評価をいただいた。

○非常時等の対応

- ・事故防止マニュアルや感染症マニュアル等の周知に至らず、「わからない」との回答が多かった。
- ・定期的な避難訓練を実施していたものの、実施曜日に偏りがあり、「はい」との回答が6割に留まった。

○満足度

- ・息子は南砂町の療育へ行く事を伝えると普段の3倍嬉しそうにしている。最近は「行くよ」と言うと自ら玄関に小走りで向かっていくので楽しみにしていると感じている。などのご意見をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・感染症対策の観点より、保護者会の開催が難しかったが制限が緩和されたため、療育参観や対面での保護者会を企画していく。
- ・児童発達支援と放課後等デイサービスの一体型教室であることから、児童発達支援での避難訓練の実施が少なくなってしまったため、時間帯を合わせて教室全体として実施できるよう工夫する。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・保護者会の実施ができた。それに伴って行った、保護者参加型療育に対し、保護者様から好評をいただけたため、次年度にも繋げていきたい。
- ・教室の構造上、換気しづらいこともあり感染症が蔓延するリスクが考えられる。そのため、手洗いや消毒のみならず、換気も意識的に行っていきたい。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・通常の支援プログラムと主に年長児を対象とした就学プログラムにて差別化を図ることで、保護者様から高い評価をいただいた。
- ・希望に応じて、保育園や他事業所との連携に努めた。
- ・職員間での児童に関する様子や課題を日頃から共有することによって、全員が共通理解を持ち支援の提供ができています。

○改善点

- ・事故防止や感染症対策等様々なマニュアルが策定されており、事務室にて保管されているが保護者様への説明にまでは至っておらず、「どちらともいえない」「わからない」との回答を多くいただいた。そのため、各マニュアルの開示と内容説明を開始することで、周知に努めたい。
- ・毎月、避難訓練の実施を行っているものお保護者様へのフィードバックが十分にできておらず、「わからない」との回答を多くいただいた。より詳細に、丁寧にお伝えすることで取り組みへの周知に努める。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・新体制となり、放課後等デイサービスとの多機能型から児童発達支援が完全に分離したことから、今まで以上に連携を強めることで支援の充実・拡大を図る。
- ・就学時には、移行支援として保育園や幼稚園、他事業所等との連携を図ることで、就学準備に特化した支援内容について実施していく。

○1年間で取り組む具体策

- ・月に1回以上避難訓練のプログラムを設け、1年間で全ての利用者に対して訓練を実施する。また、フィードバックや面談、その他保護者様とのやりとりの際に、訓練実施の旨を伝える。
- ・年1回に留まらず、保護者参加型の療育提供を複数回実施することに努め、保護者様との関係性を深めていく。
- ・放課後等デイサービスの兼ね合いを考慮し、支援提供の時間調整を行い、聴覚等に特性のある児童に配慮していく。